

ミレニアの米国多職種医療研修

研修地： カリフォルニア州 ロサンゼルス

対象： 病院経営者、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、
作業療法士、言語聴覚療法士、ソーシャルワーカー、介護士、
管理栄養士、臨床工学技士、臨床検査技師、放射線技師、
経営企画担当者、教育研修担当者、医療事務など



✓ 研修内容 (ニーズに合わせてカスタマイズ可、裏面のサンプルスケジュール参照)

「多職種スタッフが同時に学べる」現場視察中心の人気の研修デザイン

各職種のエリアの現場視察、業務見学及びスタッフとのディスカッションを取り入れる事により、短期間で効率よくそれぞれの職種スタッフが学べます。また、病棟現場視察でも、それぞれの職種がどのように関わっているかに重点をおいたプレゼンテーションを行ないます。

※ 米国病院現場での多職種連携の実例紹介・ディスカッション

日本と比べて分業システムが確立されているアメリカ。多職種医療サービスのコーディネートを勤める病棟看護師の視点から、実例を使って実際のサービス介入のタイミングと相互連携方法について詳しく説明します。

※ スタッフ教育、ケアの質管理、患者満足度向上などのトピックなどについて様々な職種のスタッフと意見交換することにより、院内の多職種連携の重要性を再認識する機会を提供。

✓ 「ここが違う！」ミレニアの米国医療研修

① 職人技 コーディネート

20年以上の医療研修実績から培ったノウハウで、お客様の研修希望内容をしっかり把握し、講師や視察現場スタッフと何度も事前に打ち合わせ、万全に準備します。

② とにかく分かりやすい！ 通訳

日米の医療現場を熟知し、インタビュー能力の優れたプロだからこそできる通訳。米国人現場スタッフと自由に意思疎通ができるから、ストレスがありません。



✓ 過去の医療研修実績例

東京大学附属病院、山口大学附属病院、福井大学附属病院、大分大学附属病院、名古屋市立大学病院
徳洲会グループ 看護部、厚生労働省、看護協会(徳島、山口、岐阜、群馬など)、アイン・ファーマシーズ、他

✓ 過去の研修参加者のコメント

「今回の研修をとおして、参加スタッフは質の高い医療を行なうためにそれぞれ自分達が本来求められている業務を再確認できたものと思います。忙しさの中でつい忘れかけていた自分達が求めていた医療の実践の為に、も業務内容やシステムの見直しを実施し、更に日本人が得意とする工夫を加え、理想の医療の実現に努めなければならないと感じました。」(嶋田病院 病院長 島田昇二郎様からのメールより)

✓ サンプル・スケジュール

日程	午前	午後
1	講義 ◆ 米国医療制度概要 - 各医療サービスと患者の流れ・日米比較 - DRG制度(疾病別包括支払い方式)採用による在院日数短縮等の医療システム変換 - 医療保険制度とマネージドケア (公的医療保険・民間医療保険とマネージドケアの仕組み)	現場視察① 大学病院 ・病院概要のプレゼンテーション ・現場視察・管理者とのディスカッション (内容例:ICU、一般外科、血液癌ユニット) ・看護部 教育管理者によるプレゼンテーション (トピック例) - 新人教育の内容と生涯学習の状況 - スタッフ質管理・モチベーションアップの為の手法 ・臨床検査室視察・業務見学
	講義 ◆ 米国看護師による講義・質疑応答 (トピック例) - 看護診断と看護計画の実際 - 病棟での多職種連携の実際(症例紹介)	現場視察② 大手専門病院(小児) ・現場視察・管理者とのディスカッション (内容例:ER、ICU、一般病棟) ・ソーシャルワーカーによるプレゼンテーション (トピック例) - 臨床ソーシャルワーカーの役割と実際の業務内容 - 患者家族に対する精神的サポートの方法・声かけ例 ・看護部 臨床管理者によるプレゼンテーション (トピック例) - 現場の課題とケアの質改善の為の取り組み実例 - 患者満足度調査と調査結果の活用 ・放射線部門エリア視察・業務見学 ・チャート部門エリア視察・管理者との質疑応答
3	現場視察③ リハビリ専門病院 ・現場視察・管理者とのディスカッション (内容例:脳卒中リハビリユニット) ・医師とのディスカッション (トピック例) - 米国での医師の勤務体制 - 日常業務の流れ - 多職種連携の実際 ・リハビリ部門エリア視察・業務見学 ・薬剤部門エリア視察・業務見学	現場視察④ 大手コミュニティ病院 ・管理栄養士とのディスカッション (トピック例) - 日常業務の流れ - 経管・経腸栄養療法の実例 - NSTチームの活動内容 ・オペ室視察・臨床工学技士との質疑応答 ・外来癌センター視察 米国 多職種医療研修 修了書の授与

視察先の事情により、研修先・内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

作成:ミレニアエデュケーション Copyright © Millennia Education 2013 本紙の無断複写・改造を禁止します。

お問い合わせ

ミレニア・エデュケーション

Millennia Holdings, Inc.

E-mail: info@iryu-kenshu.com

Web: www.iryu-kenshu.com

Tel: 1(米国 国番号)-213-252-1230